



令和2年11月18日

## G I G A スクール視察 ICT活用場面

1時間目 2年2組【算数】 寺山

活用場面：導入・展開

- 問題の場面をタブレット上で確認する。
- タブレットを用いて、立式した理由を説明する。

2時間目 3年1組【国語】 山代

活用場面：展開

- 自分が作ったことわざや慣用句のスライドをタブレットで紹介する。
- 自分のタブレットで友達のスライドを自分のペースで見た上で、感想を書く。
- 友達のスライドのよさを書いたプリントをタブレットで写真を撮り、友達に送信する。

3時間目 4年1組【道徳】 植田

活用場面：導入・展開・終末

- 前時のアンケート結果を確認する。
- 自分の気持ちに合うカードを提出し、「提出箱」を見て、学級の気持ちを把握する。
- 振り返りを「提出箱」に提出する。

2組【算数】 丸山

活用場面：導入・展開

- 教師のタブレットで本時のオリエンテーションを受ける。
- ヒントカード、練習問題とその答えを「資料箱」に入れおき、自由に使う。

小須戸っ子タイム 5年1組【図画工作】 目黒修

活用場面：展開

- 製作途中の「交流タイム」で、友達が作っている版画作品をタブレットで写真に撮り、そのよさや感想を添えて、友達に送信する。



# ロイロノートを使いこなして、気軽にUDLに取り組もう！ver1.0

場面	活用内容	具体的な操作	UDLの気付き
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の振り返りの提示</li> <li>・児童に考えさせたい教材（写真・動画）の提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師用タブレット、テレビ、児童用タブレットに映す。その際、テレビにはHDMIでつなぎ、児童用タブレットには「画面配信」を行う。</li> </ul>	実践して気付いたことをこの欄に書き込みながら、活用してください。
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に伝えたい教材（写真・動画）の提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師用タブレット、テレビ、児童用タブレットに映す。その際、テレビにはHDMIでつなぎ、児童用タブレットには「画面配信」を行う。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が使用する教材の送信（教師用タブレットから児童用タブレットへ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「送る」で「全員」または「個人」で送る。その際、タブレット画面に表示されない場合、「送る」のタイムラインには表示されているので、選択し、使用する。</li> </ul> <p>【応用例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの写真を撮って、送信。その写真をダブルタップまたは虫眼鏡マークをタップすると、写真を撮った元のHPにつながる。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「資料箱」からの教材の複製</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォルダーの中から使いたい教材を選択し、「使用する」</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音量調節</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童用タブレット自体の音量を下げる（半分程度）。</li> <li>・児童自身が動画の音量を下げる。</li> <li>・予め児童が使用する動画の音量を下げておく。</li> <li>・ヘッドフォンを使う。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画撮影</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が撮る。→「友達同士の送受信」へ</li> <li>・自分で撮る。タブレットを縦にすると、撮影しやすい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達同士の送受信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒間通信」を許可して、友達同士の送受信を行う。送った内容は「送る」のタイムラインで教師が確認できる。</li> </ul>	
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの作成</li> </ul> <p>① <b>カード</b> カードの色で理解度を表す。文章も書くこともできます。</p> <p>② <b>写真</b> ノートに書いた振り返りを写真に撮る。</p> <p>③ <b>動画</b> 振り返りを動画に撮る。</p> <p>④ ①・②・③の組み合わせ つなげる→たたむ→「提出箱」に送る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回答の共有</li> </ul>	<p>① 「テキスト」でカードの色を選択する。</p> <p>【活用例】水色：よく分かった クリーム：分かった ピンク：あまり分からない。水色の後に、黄緑を入れて、4段階も可能。</p> <p>② 「カメラ」で撮る。</p> <p>③ 「カメラ」で「ビデオ」を選択し、映る方向を変える。</p> <p>④ カードを先頭にして、動画や写真をつなげて、提出。より子どもの実態を知ることができる。先頭をカードにすることで、「提出箱」を共有すると、カードの色や内容で教師だけでなく、子どもも理解度が円滑に確認できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「提出箱」の「回答共有する」</li> </ul>	

※ このリストは、暫定的なものです。お気付きの点がありましたら、UDLまたはICT主任にお知らせください。